

★ ラインナップ ★

☆ 秋の星空 ~ 変光星を見よう! ~

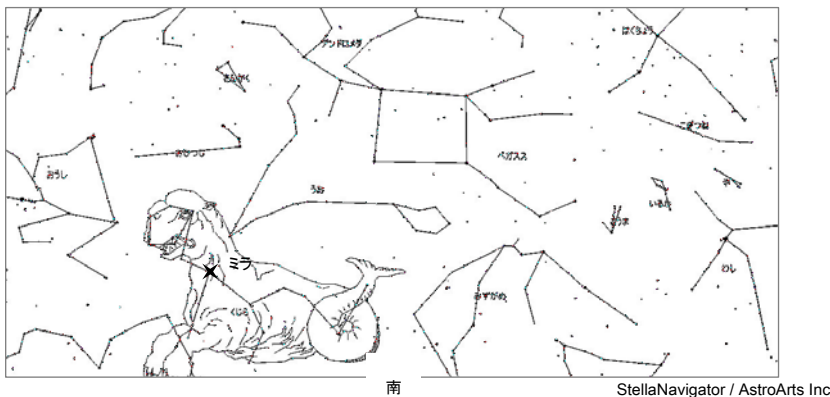
★ 安倍晴明史跡めぐり 其の五 ■ 三山（三郎島）と大浦神社

★ 満天の星に想いを馳せて 一星月夜のコンサート ライトダウン in あさくちー

秋の星空 ~ 変光星を見よう! ~

夜空を見上げてみると、頭の真上のあたりにきれいな四辺形の並びが見えています。秋の四辺形（ペガサスの四辺形）と呼ばれるこの並びがのぼってくると、いよいよ秋の星座たちが出そろってきます。

秋の星空には明るい星が少ないのですが、見どころはたくさんあります。有名なギリシャ神話『古代エチオピア王国』にまつわる物語に登場する星座たちの姿を、物語とともにたどっていくのも一つの楽しみ。また、アンドロメダ座には、約230万光年彼方から届くアンドロメダ銀河(M31)の姿も見ることができます。さらには、明るさをかえるちょっと不思議な星の姿も見ることができるのです。



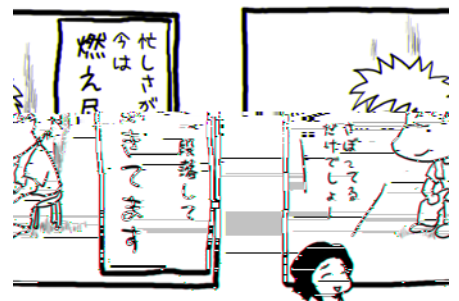
例えば、くじら座の心臓部分に輝くミラという星。この星は、およそ332日の周期で、明るさが2等級から10等級まで変わります。最も明るい時には肉眼でもはっきりと見えるのに、だんだんと肉眼ではわからなくなり、最も暗くなると望遠鏡を使わないと見るができなくなってしまいます。この不思議な様子から、ミラ（ラテン語で「不思議なもの」という意味）と呼ばれるようになったといわれています。

でも、どうしてミラは明るさを変えるのでしょうか？ 今では、変光星にもいろいろな種類があることがわかり、変光の原因などからいくつかのタイプに分けられています。ミラの場合、星の大きさが膨らんだり縮んだりを繰り返すことで明るさが変わる「脈動型変光星」に分類されています。また、ペルセウス座のアルゴルは、二つの星がお互いを隠しあって変光しているように見える「食変光星」です。

そんな不思議なミラが、今年の12月に最も明るくなると予想されています。脈動するクジラの心臓を皆さんも眺めてみてください。

博物館日記

第4話「忙しかった夏」



安倍晴明史跡めぐり 其の五

今回は、浅口市寄島町にある安倍晴明のゆかりの地について紹介していくことにしましょう。

■ 三山（三郎島）と大浦神社

大浦神社には、応神天皇（誉田別命）、仲哀天皇（足仲彦命）、神功皇后（息長足姫命）の三柱の神様が祭られています。

神功皇后は仲哀天皇の皇后で、三韓出兵物語の中心人物として知られています。皇后は仲哀天皇の死後、武内宿禰とともに朝鮮半島に遠征し、帰国後に応神天皇を生みました。

その遠征からの帰国の途中、神功皇后は景色のよい小島があったので、そこに立ち寄りました。それ以後、皇后が立ち寄った島を「寄島」と呼ぶようになりました。

皇后が対岸の陸地に渡ろうと島の北側に立つと、海が二つに割れ、歩いて渡ることができました。陸地に渡った皇后は、散歩して、美しい海岸の景色を楽しみました。そして、疲れた皇后は「あくらは」と言いました。「あ」とは自分を、「くら」は休むための座席を意味しており、「あくらは」とは「私の休む場所はどこか」という意味です。この言葉が「安倉」の地名になったと伝えられています。



三山(三郎島)

997年、備中介となっていた安倍晴明が、寄島の南西にある三山（三郎島）に、応神天皇、仲哀天皇、神功皇后の三柱の神を祭り、この地方の氏神としたと伝えられています。



犬養剛の筆による
大浦神社の石柱

三山は高さ約10mの島で、約6mの間隔で規則正しく並んでおり、干潮になると三つの島が一つの島になります。さらに大潮の干潮の時には、三山は地続きにもなります。中央の島には黒松が生えており、名勝として寄島の象徴ともなっています。

その後、永禄年間に、鴨方城主細川通薫によって、三柱の神様は現在の地に移されました。この神社は、かつては八幡宮と呼ばれていましたが、明治2年に大浦神社と改められました。

大浦神社では毎年の秋の祭で、競馬神事が行なわれています。これは細川通薫が、この地に三柱の神様を移して社殿を造る時に、祭礼の式列に参加させる神馬を選ぶために、競馬を行なわせたことが起源とされています。

けいだい ば ば じゅうに が ゆみや もち
境内の馬場で 12 回の競馬（十二懸けの神事）と弓矢を用いた
た さい たい
的射の神事が行なわれます。



大浦神社

★ アクセス方法 ★

大浦神社

- ふれあい交流館サンパレアから西へ徒歩約 10 分。

三郎島（三山島）

- 三山スポーツ公園から南へ徒歩約 10 分。
近くには、アッケシソウ群生地があります。

満天の星に想いを馳せて — ほしづくよ 星月夜のコンサート ライトダウン in あさくち —

「みなさんは最近、星空をじっくり眺めたことがありますか。」



新良幸人 with サンデーの島唄ライブ

そんな呼びかけのもと、9月23日、『星月夜のコンサート
ライトダウン in あさくち』が、寄島町三ツ山スポーツ公園
で開催されました。

天文台や博物館ができてもうすぐ50年。当時、街は真っ暗で、美しい星空が空いっぱいに広がっていたそうです。けれど時が経ち、街明かりが増えるにしたがって、見える星の数は減っていき、そして私達自身も夜空を見上げることが少なくなってしまったように思います。でも本当は、今も星はたくさん輝いています。そして浅口市は、まだまだ空も暗くて、美しい星空を見ることができる素晴らしいところ。そんな星空をみんなでじっくり眺めながら、環境に優しい街づくりについても考えるきっかけが作れたら…

ライトダウンという言葉、最近みなさんも耳にすることがあるかと思います。有名なものだと、夏至の日のキャンドルナイトもそのひとつですが、実は、国立天文台でもライトダウンイベントを開催しているんです。沖縄の石垣島で、国立天文台の附属施設である石垣島天文台や島の NPO 団体などが一緒になって2002年からはじまった「南の島の星まつり」は、毎年、七夕の星が見頃を迎える旧暦の七夕の頃に開催されます。天文台の公開や観望会、そしてライトダウンのもと星空ライブなど、年々いろいろなイベントが開催されて、島の人たちはもちろん、観光客のみなさんなど、1万人もの人が集まる大イベントになりました。いつかこんなイベントを浅口市でも開催したい、そんな私たちがずっと心の中で暖めてきた願いが、ついに実現したのです。



天文台&環境ブースの体験コーナー

イベントでは、ライトダウンや環境・光害に関するお話、そして当日見える星空の紹介のあと、プロのミュージシャンによる星空ライブを開催しました。また天文台と環境に関するブースも設置され、たくさんの方が興味津々でのぞいてくださいました。

星空ライブにご出演いただいた
あらゆきと かみや
新良幸人 with サンデー、神谷
ちひろ ちなまさる
千尋 with 知名勝のみなさんは、
うたしや
沖縄出身の素晴らしい唄者です。



島唄ライブのようす

沖縄に古くから伝わる唄には、月や星がたくさん登場します。そんな唄を聴いていると、昔から島の人たちにとって夜空に見える月や星は、人々の生活や想いに深く根ざした、とても身近なものだったのだなあっと感じます。そんな星空への想いを、岡山のみなさんにも改めて感じてもらいたい、そんな気持ちを込めて開催された島唄ライブでした。

ライブも終盤に近づいた頃、20:30 から約 20 分間、会場そして地元のみなさんにもご協力いただきライトダウンを行いました。次々と灯りが消えていくと、あたりは闇につつまれ、まさに自然と一体になったよう！ 残念ながら空は雲に覆われて星を見ることはできませんでしたが、新良幸人さんの「きっと、ではなくて、あの雲の上には、本当に満天の星があるんです。」という言葉は、みなさんの心に深く響いたはず。会場にいる人たち全員が、雲の向こうで輝いている星たちに想いを馳せる中、「来年また、ここで会いましょう！」と誓い、今年の『星月夜のコンサート』は幕を閉じました。

博物館からのお知らせ

4D2U

国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクト
FOUR-DIMENSIONAL DIGITAL UNIVERSE PROJECT, NAOJ

4次元デジタル宇宙(4D2U)シアター、もう見ましたか？
最新の宇宙の姿を、観測データやコンピューターを使って描き出し、迫力ある立体映像で体感できるシステム。それが、4D2Uシアター！

宇宙とはどんなものなのか？ お見逃しなく！！

* 上映時間 (平日) 14:30~

(土日祝) 11:30~, 14:30~

提供:国立天文台 4D2U プロジェクト

< 編集後記 >

☆ “星月夜”とは、星明かりだけで月夜のように明るい夜のこと。

来年はそんな満天の星の下で聴けますように。 Yumi

★ 今回は浅口市寄島町にある安倍晴明ゆかりの地を紹介しました。三山は寄島の南端に位置しています。瀬戸内の景色やアッケシソウの群生地など、他にも見どころがあるので、ぜひ遊びに行ってみてください。 Kabu

★ 秋ですねえ・・・もうすぐ冬ですねえ・・・冬になったら・・・ peg

☆ 秋祭りだー！ 子どもたちの願いや家内安全を祈って、子供神輿が元気よく練り歩いたよ！！ KIYO

★ 京都で見つけた美味しい料理屋さん。やっぱウまい料理には、ウまいお酒！ 飲みすぎです。 tomo

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 冬号は 12 月ごろ 発行予定です。

岡山天文博物館 浅口市鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX:0865(44)2465 休館日:月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ URL <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>